

平成27年度 ニシン漁獲物調査速報(5)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

2月4日に小樽市漁業協同組合に出荷された漁獲物の測定調査を実施しましたので結果を報告します。小樽市漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲(表1) 前回調査(1月23日)では①番手が最も多かったのに対し、今回は②番手の出荷が最も多くなっており、例年の傾向と同じく漁期の進行にともない徐々に型が小さくなってきているようです。4日は全体で10トン超えの好漁となったようです。

2. メスの完熟率(表1)

測定した雌個体すべてが完熟状態でした。すでに今期は小樽や厚田で群来が数回観察され5年魚以上の高年齢魚については産卵が進んでおり、今回の出荷物の中では子ヌケもみられるようになっていきます。

3. 年齢別尾又長組成(図1)

尾又長32cmにモードのある7年魚(2009年級)主体の大型魚と、28cmモードの4年魚(2012年級)の2群構成となっており、この傾向は今漁期当初から続いています。しかし、序盤に比べ7年魚の数が減り主体は4年魚に移っています。今後、高年齢魚は海況が整えば続々と産卵を行い、沖に戻るとみられますので、今後はよりいっそう4年魚中心の来遊となる見込みであり、今期通しての好・不漁感はこのからの4年魚の豊度次第といえます。

表1 銘柄別ニシン漁獲・測定結果

銘柄	①	②	③	その他	合計
漁獲重量(4日出荷分)	1,210.00	2,420.00	275.00	6,793.00	10,698.0
漁獲尾数	2,750	8,300	1,084		12,134
測定尾数	12	18	21		51
測定尾数(精密)	12	18	21		51
平均尾又長(mm)	322	290	278		296.4
平均体重(g)	440	292	254		321.8
雌の比率	0.58	0.33	0.33		—
完熟率*	1.00	1.00	1.00		—

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの比率

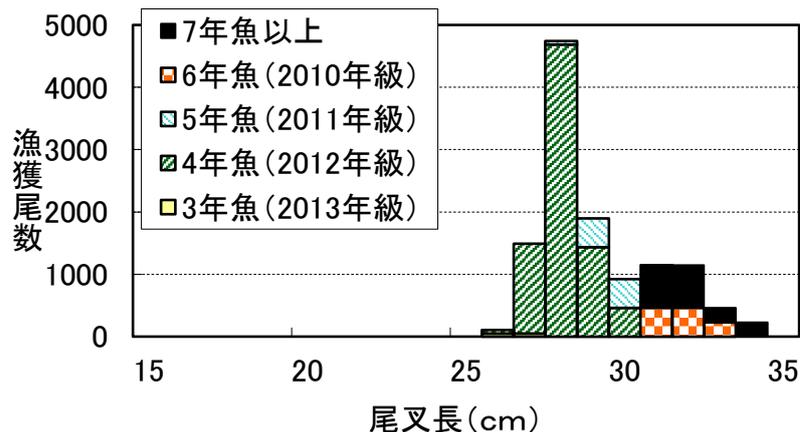


図1 2016年2月4日小樽海域 年齢別尾又長組成